

ある日の育児日記から

和代 佐藤

四月、といえば新学期。我が家も大きく変化しそうです。敬が（主人です。主人というのも夫といいうのも変なのでこう記します）会社を辞めたのです。次の仕事はまだ考えていないので、当分主夫するぞ！なんて言っているところ。

さて、主夫業の手始めは保育園の送り迎え。慣れないで忘れ物ばかりしていますが、子どもには「お父さんだと、自転車ビューンって速いんだよ！」と好評です。もっとも有は時々「お父さん会社で、お母さん保育園なのー」と言っていますが。二歳には二歳なりの社会常識があるのかな。

でも、妻子があるので、静。送り迎えするお父さんは多いので、敬も目立ちません。そういうえば、保育園の子の父親って、画家やらミュージシャンやら劇団員やら、かなりバラエティ豊かです。

こっちの社会常識は柔軟なよう。「敬が失業しているの！」と言つたら、あるお母さんは「じゃ『稼がないダンナを持つた妻連盟』ってのつくろう」なんて笑っていました。保育園でできる知り合いで、結構ユニークでいいな、と見直したりしてね。

ともあれ、主夫が誕生した我が家がどう変化するか、これからをお楽しみに。



(51)

お母さんの「お古様」
昔なつかし(?)キルヌマフラー。お気に入りなの。